

専攻主科目名

緩和医療学

◆問合わせ連絡先 担当：緩和医療学講座 有賀 悦子

E-mail kanwa@teikyo-u.ac.jp

TEL 03-3964-1211（内線・モバイル：33678・7732）

HP（緩和医療学講座）<http://www2.med.teikyo-u.ac.jp/palliativecare/>

緩和医療学講座

地域の緩和ケアをリードする人材育成を目指して 2013年4月開設

日本緩和医療学会認定研修施設

- ❖ スタッフ 主任教授 有賀悦子（日本緩和医療学会指導医）
准教授 渡辺温子（日本緩和医療学会専門医 / 日本小児科学会専門医 / 日本血液学会専門医 / 小児血液・がん学会専門医）
助手 春山輝亘（日本内科学会認定医）（2026年6月現在）

地域がん診療連携拠点病院 緩和ケアセンター（緩和ケア内科）

- ❖ 緩和ケアチームメンバー構成：医師（緩和ケア内科、精神神経科、循環器内科 他）、看護師、薬剤師、公認心理師 他
- ❖ 全メンバー持ち回りの勉強会を毎週実施し、チーム全体の専門性向上に取り組んでいます。
- ❖ 年間400例を超える依頼があり、豊富な経験を得ることができます。
- ❖ 厚生労働省の委託で行われる「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会」を学内で年2回開催し、病院の研修医や非常勤医を含む医師の「がん診療に関わる医師」は95.7%、「全医師」の88.4%（2025年12月現在）が受講しています。



◆大学院のモデルコース



✓ 研究室もオープンし、実験を行うことも可能になります

- ✓ 大学院入学時点でのがん診療の経験によっては、腫瘍内科、循環器内科等での研修を行うことを検討します。
- ✓ 大学院在学中は、社会人入学制度(帝京大学医学部附属病院勤務)や一般入学制度等、選択の相談に応じます。研究内容によって、外部医療機関への研究委託やベッドフリー期間なども選択可能です。
- ✓ 優れた原著論文の執筆など所定の要件を満たした場合、早期修了(3年間)の適用を受けられる場合があります。在学中に緩和医療学会専門医取得を目指します。
- ✓ 一般入学の場合、奨学金制度があります。

主な研修

緩和ケア臨床研修(月～土)

緩和ケアセンター(緩和ケア内科)内でチームマネジメント、患者の包括的評価と症状緩和を学びます

BSティーチングミーティング(1回/週) 病棟内連携を学ぶ

BSティーチングラウンド(1回/週) 症例検討

多職種カンファレンス(1回/週) 学際的チームマネジメントを学ぶ

Journal Club(1-2回/月)

緩和ケアに関連した英文論文を通読します

Research meeting(1回程度/月)

講座における研究に関する議論を行います

Staff teaching(不定期)

大学院生から多職種スタッフへレクチャーを行います

